



¡MÉXICO MÁXICO!

メヒコ マヒコ - 魅惑の国メキシコ - ago. 2018



【Vol.12】終了レポート

国立人類学博物館の野外展示



日本文化に逆カルチャーショック

メキシコから帰国して1ヶ月が過ぎました。帰国当日まで UNAM の手続きやお土産調達、色々食べ納めに奔走し、空港へ向かう直前まで格闘した若干超過のパッキング、そして最後のプチ難関と言われる空港での出国手続き(メキシコ在住者がうっかり忘れることで有名)に緊張し、しんみり感傷とは程遠い慌てぶりで帰国の途につきました。日本ではまだ何もかもが新鮮で、人混みの歩くスピードの波に乗れなかったり、くしゃみをした人に“Salud(お大事に!)”と言いそうになったり、まだまだメキシコ生活の延長のように過ごしていますが、そろそろ慣れたいところです。

出来た事・出来なかった事

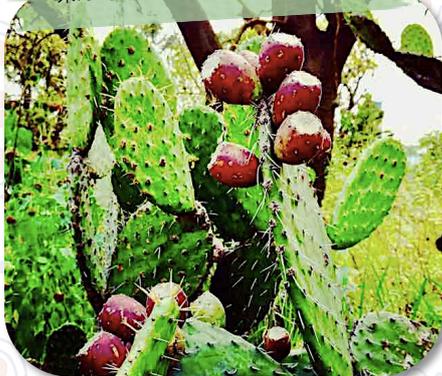
1年を振り返り、目標だったスペイン語とメキシコ美術の勉強に関しては、ほぼ満足いく成果が残せました。研修後半からの CEPE と FAD の2足のわらじは予想以上に辛いものがありましたが、CEPE だけ通っていた頃は時間を持て余し、上達もあまり感じられなかったのが結果良い選択だったと感じます。その他、日墨研修とは別に他機関から研究助成も頂くことができ、論文予備調査を進めることができました。

出来なかった事は地方への旅行で、メキシコの文化に直接触れる機会が少なかったのが心残りです。これはまた次回メキシコを訪れる理由にしたいと思います。

グアダルーペ寺院裏手からみた景色



味がないので使い易い食材



メキシコの国民食サボテン

“蛇(la serpiente)をくわえた鷲(el águila)がとまっているサボテン(los cactus)の場所に首都テノチティラン(現在のメキシコシティ)を建設せよ”というアステカ神話はメキシコ国旗に表されるほど有名で、CEPE で最初に覚えた単語でもありました。このサボテン、食材としても栄養豊富な優秀野菜で、メキシコ家庭料理に欠かせません。ウチワサボテン(El Nopal)のうちわ部分の棘を削ぎ落としたものがよく路上で売られており、味を例えるなら酸味を含んだ茎ワカメ。他にも、Tuna と呼ばれる赤い実の部分も食べられるので、メキシコ食文化を体験したい時、サボテンがおすすめです。

日本食が恋しくなったら?

どうしてもアレが食べた過ぎて頭から離れない…という状況は留学あるあるかも知れません。幸いシティでは日本料理屋さんが大充実しており、日本食材も手に入りやすいため、比較的食のストレスは解消しやすいのではないかと思います。私の場合、昆布だしとキムチが心の安定剤だったので、定期的に Zona Rosa 地区の韓国人居住エリアの食材店で買い足したり、韓国人の友人宅に突撃晩ごはんをしていました。体調を崩したり、成績が伸び悩んだり、勉強一筋! が辛くなった時、無理をせず食べたいものを好きなだけ食べてしまうのも、QOL を維持するひとつの方法かも知れません。



日本食レストラン@日墨会館

運営部門内にある額装エリア



美術館インターンの一例

メキシコの美術館は日本とは違い、各部門で企画や展示、コレクション管理、教育普及といった職務が細分化されており、在籍したカーリーヨ・ヒル美術館(MACG)も12部門、60名以上が働いている比較的規模の大きい美術館でした。不定期でお邪魔していましたが、2回の面談を経て正式に美術館運営部門へ配属となり、収蔵庫改修に伴うカタログ・レゾネ(コレクション総目録)のデータ整理を担当しました。

上司や同僚いわく、外国人の受入れは初めてとのこと、学校とはまた違った緊張感のなか、仕事と研究を並行させて頂け、メキシコを代表的する美術館の舞台裏に関われたことはこの日墨研修の一番の大きな収穫です。

ここで、メキシコの美術館・博物館でインターンやボランティア活動を考えている方へ、ご参考までに私の例をご紹介します。といっても特別なことはしておらず、履歴書とポートフォリオ、CONACYT受入れ書等を持って受付に行き、インターンしたいと直談判。面談となり、コレクションの知識や研究テーマに関する制約について確認されましたが、受入れのための擦り合わせという雰囲気ですぐ和やかでした。

MACGでは各部門にフェローやアルバイトがいますが、教育普及部門では語学レベルに関係なく常時ボランティアを受入れている雰囲気だったので、CEPE以外でネイティブと喋る機会が欲しい方におすすめしたい活動のひとつです。



ヘビメタ爆音の愉快的なオフィス

西語&日本語が入り乱れるノート



FAD ディプロマコース

エッセイ提出と最終プレゼンをなんとか終え、9.5/10点でFADの保存修復コースを修了することができました。読み終わらない課題エッセイを手に星を数えた夜も、締切り直前に取り掛かり始める同期とのグループ課題で鍛えた短期集中力も糧となった気がします。最終講義の後はメキシコらしく、同期と先生方全員でセリベセリア(Cerbeceria:ビアホール)で健闘を称え合い完全燃焼。最初の頃、クラスにまったくついていけず、これが時期尚早ってやつか…と焦りに焦りましたが、知的好奇心を枯らすことなく半年間学び続けられたのは、同期や先生方・事務の皆さんのお陰です。“次は一緒に仕事をしよう”と交わした同期達との約束が、今後もスペイン語を勉強し続けるモチベーションになりそうです。

よりどりみどり☺カフェ勉@シティ

留学生にとって死活問題のネット環境。残念ながらUNAMはWi-Fiが開放されていないので、課題やテスト勉強はもっぱらStarbucksやCielito Caféといったカフェでしていました。時間制限なしの無料Wi-Fiにサクッと繋げられ充電もOKな上、Starbucksは2F席が案外空いていたり、Cielito Caféはメキシカンなドリンクメニューが豊富で、日本以上にカフェ勉が捗ります。その他、おしゃカフェ代表格Tierra Garatや、世界の美しい本屋ランキングに載ったEl Pénduloなども。個人的に痺れたCafé EMIRは、流しのギター奏者や音大生などが飛び込みで生演奏してくれ、“これぞラテン!”な気分が味わえます。集中したいけどステイ先ではちょっと難しいという時、シティには居心地の良い素敵なカフェがたくさんあります。



植物が茂るEl Pénduloの店内

シティの瀟洒な中央郵便局



社会人が日墨研修へ参加するメリット

ビザの手配から現地生活に必要な諸々手続き、毎月の奨学金までサポート頂きながら勉学に集中できた日墨研修は貴重な機会でした。社会人がスキルアップのためにスペイン語圏へ長期留学したい時、日墨研修ほど手厚いサポートを受けられるプログラムは他にありません。昔、中米で暮らしていたとはいえ、日常生活で身につけた独学、間違って覚えていたり曖昧なまま雰囲気流していた文法が大半だったので、改めて勉強し直すことができ、霧が晴れるー！と膝を打つ日々でした。

じつは日墨研修を受験する際、他のアート系在外研修と迷ったのですが、メキシコでの1年を振り返り、日墨研修生として参加できてよかったと実感しています。

大きな理由として、CONACYT 奨学生という身分はメキシコ国内で予想以上に信頼を得やすく、活動しやすい環境だった点が挙げられます。書類文化が根強いメキシコで CONACYT の受入れ証明書にお世話になった場面は数知れず。また、イレギュラーな事でも CONACYT(Cc:大使館)に相談してみると意外と OK を頂けることが多いです。実際、私は CEPE 卒業前に FAD の正規学生コースへの入学を許可頂き、帰国日も延長して頂きました。今思うのは、CEPE を卒業してから FAD に入っても絶対授業にはついていけなかったので、早めに自分から行動を起こして新しい環境へ身を置いたほうが得るものも多く、そうした日墨生の希望を CONACYT は最大限尊重してくれます。



雨乞いの伝統儀式〈ボラドーレス〉

CEPE の過ごし方・楽しみ方

メキシコ人から「CEPE のテストは loco (狂ってるほど細かい)」と真顔で言われ、CEPE の先生達は「CEPE の本は basura(ゴミ)だ！」と揶揄するほど教科書とテスト内容が乖離していますが、日々の授業ではメキシコの遺産や食文化から、尊厳死・若年妊娠・美容整形のリスクといった社会問題まで扱うので飽きません。私見ですが、文法クラスのレベルが上がるにつれて殺伐とした雰囲気になったので、少人数でアットホームと言われる午後クラスも試してみたかったなと思います。唯一の心残りは、スケジュールの関係でダンスクラスが1回も取れなかった事。全レベルで履修でき、CEPE イチ盛り上がる発表会もあるので、ぜひ登録してみてください！



ブラックユーモア炸裂の恩師

メキシコ留学を考えている方へ

犯罪大国というイメージが強い国ですが、実際には麻薬がらみの犯罪は国境沿いの特定の地域に限られており、シティで暮らしていて危険な目に遭うことはほとんどありません。むしろ、治安と物価、スペイン語の訛り等を勘案すると、スペイン語圏で最も語学学習に向いている国だと感じます。特に救われたのが、拙いスペイン語でも茶化さず真摯に対応してくれるメキシコ人が老若男女本当に多いこと。また、アジア人軽視の風潮がなく、お店やタクシーで高額請求に遭わないので生活面での精神的ダメージもゼロ。何より、オープンでのんびりした雰囲気が大好きです。

今回、埼玉県代表として日墨研修への参加が叶い、念願だったメキシコ留学で多くの学びと刺激を受けることができました。今後は、日本とメキシコの間を深められる場で還元していきたいと思います。1年間ありがとうございました。

メキシコのベネツィア？ソチミルコ

